

平成30年11月24日

◎救急救命講習会(2小 PTA)

南街・桜が丘地域防災協議会 本部

北多摩西部消防署のご指導の下、東大和市立第2小学校 PTA 主催・南街桜が丘地域防災協議会の協力による救急救命講習会が、自治会集会所にて開催されました。

14名ほど(お子様5名を含む)の方々が参加され、2時間の熱のこもった講習会となりました。

1. ご講師(北多摩西部消防署)

稲垣様



金本様



村中様

2. 模範指導



呼吸の確認



胸骨圧迫



人工呼吸



3. 心肺蘇生実習

①声をかける



②助けを求める



③呼吸の確認



④胸骨圧迫



⑤人工呼吸

⑥AED



4. 意識不明者の横たえ方(吐しゃ物への配慮)



5. 三角巾の使い方





2人1組で手・足の保護の実践



2018.11.24

6. 閉会のご挨拶



南街桜が丘地域防災協議会
岡田本部長



第2小学校 和田 PTA 会長

2018.11.24

AED（自動体外式除細動器）を用いた応急手当の要領

AED（自動体外式除細動器）とは... **Automated External Defibrillator** の頭文字を取ったものです。

1. 肩を軽くたたきながら声をかける

わかりますか？

2. 反応がない、又は判断に迷う場合は、大声で助けを求め、119番通報とAED搬送を依頼する

誰か来て下さい！人が倒れています。

あなたは119番通報してください。あなたはAEDを持ってきてください。

119番通報時や出場する救急隊から応急手当のアドバイスを受けることができます。

3. 呼吸を確認する

胸と腹部の動きを見て、「普段どおりの呼吸」をしているか、10秒以内で確認します。

4. 普段どおりの呼吸がない、又は判断に迷う場合は、すぐに胸骨圧迫を30回行う

胸骨圧迫は胸の真ん中

胸骨圧迫30回

5. 訓練を積み技術と意思がある場合は、胸骨圧迫の後、人工呼吸を2回行う

約1秒かけて、胸の上がりが見える程度の量を、2回吹き込みます。

- 人工呼吸の方法を訓練していない場合
- 人工呼吸用マウスピース等がない場合
- 血液や嘔吐物などにより感染危険がある場合

人工呼吸を行わず、胸骨圧迫を続けます。

※ 人工呼吸器やマウスピース等を使用しなくても感染危険は極めて低いといわれていますが、感染防止の観点から、人工呼吸用マウスピース等を使用したほうがより安全です。

胸骨圧迫30回と人工呼吸2回を繰り返して行います。

6. AEDが到着したら

まず、電源を入れます。

ふたを開けると自動的に電圧が入る機種もあります。

7. 電極パッドを胸に貼る

電極パッドを貼る位置は電極パッドに書かれた絵のとおり、皮膚にしっかりと貼ります。体が汗などで濡れていたら、タオル等で拭き取ってください。

※ おおよそ6歳くらいまでは、小児用電極パッドを貼ります。小児用の電極パッドがなければ、成人用の電極パッドを代用します。

8. 電気ショックの必要性は、AEDが判断する。

離れて下さい。

心電図解析中は、傷病者に触れてはいけません。

9. ショックボタンを押す

誰も傷病者に触れていないことを確認したら、点滅しているショックボタンを押します。

ショックボタン

以後は、AEDの音声メッセージに従います。

心肺蘇生とAEDの手順は、救急隊に引き継ぐか、何らかの応急や目的のあるとき（例えば、誰かなどの体調）が出現したり、普段通りの呼吸が出現するまで続けます。

救命の可能性と時間経過

（％）

50
40
30
20
10
0

0 2 4 6 8 10 12 14 16 18 20 22 24 26 28 30 32 34 36 38 40 42 44 46 48 50 52 54 56 58 60 62 64 66 68 70 72 74 76 78 80 82 84 86 88 90 92 94 96 98 100

（心臓と呼吸が止まってからの時間経過）

救急隊が到着するまでの間、居合わせた人が応急手当を行うことにより、救命の可能性が高くなります。

救命の可能性は時間とともに低下しますが、救急隊が到着するまでの間、居合わせた人が応急手当を行うことにより、救命の可能性が高くなります。

心肺蘇生のまとめ

胸骨圧迫と人工呼吸の回数は30：2

位置	胸骨の下半分（目安は胸の真ん中）
方法	両手、両手又は片手 乳児：指2本
深さ	約5cm （小児・乳児は胸の約3分の1）
テンポ	100回～120回/分
量	胸の上がりが見える程度
時間	約1秒
人工呼吸回数	2回

以上